



PTA バレーボール大会

10日(土)は、PTA 主催のバレーボール大会が行われました。私自身、帯西に赴任して、3年目となりますが、初のバレーボール大会でした。前半は低学年の部、後半は高学年の部が行われました。私も PTA チームに参加し、気持ちの良い汗を流すことができました。コロナ禍で保護者同士、あるいは保護者と教職員の交流は殆どなかったのですが、今回このような交流の機会が生まれたことは、とてもよかったと思っています。保護者の方からは、「初めて参加しましたが、先生とお話することができ、参加してよかったです。」「PTA に入って不安もありましたが、こんな楽しい雰囲気、よかったです。」という声も聞くことができました。このように、保護者同士、保護者と教職員同士が、繋がり、励まし合い、支え合う姿を見ることは、子どもたちにとっても社会の仕組みを学ぶ機会となると思っています。



PTA をよりよい形に変革している方のお話の中に、「PTA は(達成感)やりがいがある。(人とのつながり)支え合い、励まし合う。(親としての成長)活動を通して学び、豊かになる。という組織にしていきたい。」とおっしゃっていました。今回もそういう場面をたくさん見ることができ、嬉しく思いました。

本大会を運営やこれまでに準備をしてくれた PTA 執行部や保体部の皆さん、本当にありがとうございました。

6年生調理実習

先週、6年生が家庭科の調理実習で「いろどりいため」を作っていました。材料は、玉ねぎ、ピーマン、にんじん、ハムなどです。手際よく切っている子供やおぼつかない様子で切っている子供もいました。しかし、みんな大きさに気をつけて材料を切ったり、フライパンで炒めたりしました。子供たちの感想です。「最初は切り方など、ちゃんとできるか不安だったけど、実際にうまくできてよかったです。にんじんの火が通りにくくなっていたので、次の機会があったら火が通りにくいものを小さく切りたいです。味付けをほぼしなくても美味しいことに気付き、これもいいなと思いました。」「いろどりいためを作る上で一番大切なのは火の加減です。にんじんなどを焦がすことなく、(友達が)シャキシャキな食感が出せていたのですごいなと思いました。食材を炒める順番にそってきちんと炒められていたので、よりおいしさが引き立っていました。」

高学年になると、家庭科で、衣食住などの生活に関する知識と技能を身に付けます。家庭科で学んだことを是非家庭の中でも発揮してほしいと思います。休日など利用して、お子さんに任せる日などを設定していただければありがたいです。

